

第9回 武蔵野市生涯学習計画（仮称）策定委員会会議要録

日 時	平成22年2月9日（月） 午後7時00分から9時00分	
会 場	武蔵野地域自由大学交流センター	
出席者	委員 （敬称略）	◎林大樹、○倉持伸江、小町友則、白井龍男、飛山堪子、富川昌美、 渡邊一衛、萱場和裕 （◎委員長、○副委員長）
	事務局	生涯学習スポーツ課長、スポーツ振興・国体開催準備担当副参事、武蔵野プレイス開設準備室長ほか
	傍聴者	0名

【会議要録】

1 開会

2 議事

（1）全体構成について（1ページ）

■主な変更点

- ・「2 武蔵野市の生涯学習をめぐる現状と課題」の表題について「と課題」を追加
- ・「3 武蔵野市の生涯学習が目指すもの」について「施策概要」を「施策体系」から独立

【委員長】若干文言変わっているが異論はないか。

【一同】 なし

（2）策定の趣旨について（2～6ページ）

■主な変更点

- ・「計画の範囲」で「生涯教育」の枠をはずし、改めて生涯学習の範囲を提示

【飛山委員】各計画の関係図の文字がまだ小さい。もう少し大きくしてほしい。図自体をページ幅一杯に広げてもいいのではないか。関係図の中で2行にわたる文章については行間を工夫して見やすくしてほしい。

【事務局】 図は大きく見やすくしたい。

【小町委員】「計画の範囲」の図で、民間による活動が限定的に記述されている。NPOの活動等も入れてほしい。

【事務局】 幅広く読めるように表現を変更したい。

【萱場委員】「計画期間」の図で第5期長期計画が9年間にみえる。

【事務局】 10年の計画ということがわかるように図を修正したい。

【富川委員】「計画期間」の図の下の説明文が、*印の説明であることが分かりにくい。

- 【事務局】 2行にして策定期間の矢印と長期計画の部分を分けて表現したい。
- 【倉持委員】「計画の範囲」の表について、「民間による教育活動」の所は、芸術・文化・スポーツといった団体の活動分野ではなく、NPOやボランティア団体など、団体のタイプを列記したほうがわかりやすい。最後の企業内教育訓練だけ浮いているように感じる。
- 【委員長】 企業内教育訓練は限定しすぎている感じがする。通信教育を含めて色々な教育機会がある。大学、市民団体、学校、その他ぐらいの仕分けでいいのではないか。
- 【事務局】 例示の仕方を改めたい。

(3) 「2 武蔵野市の生涯学習をめぐる現状と課題」(7～12 ページ)

■主な変更点

生涯学習関連施策の経緯と現状

- ・コミュニティ施設に関する記述を加筆
- ・武蔵野市民芸術文化協会の事業及び老荘連合会に関する内容を加筆
- ・土曜学校に関する記述及び市の財政援助出資団体について加筆

生涯学習における課題

- ・リードの文章を加筆
- ・「武蔵野プレイスが何を進めていくためのものかを明確にするため、表題を「武蔵野プレイスの機能」から「機能連携を可能とする場の創設による市民活動の推進」に変更。表題と整合を図るため文章を加筆。

【富川委員】 8ページ、「○」の3つ目、「西部地域の」の形容がどこまでかかるのか分かりにくい。

【事務局】 より広域を対象としたものから、より狭い地域を対象としたものへと記述するように改めたい。

【富川委員】 「幅広い市民」という表現は文章としておかしい。

【事務局】 「幅広く市民が学ぶ」等の表現としたい。

【渡邊委員】 「コミュニティセンターの配置状況図」の⑭の下にある道路は、⑯と⑰の間まで続いているので修正してほしい。

【事務局】 コミュニティセンターの資料から転載しているものなので、どこまで修正できるかわからないが、文章表現で補足するなどしたい。

【富川委員】 課題にある「学習活動のさらなる発展」の所は、町内会や自治会など組織を持たないという表現のほうがいい。積極的に持たないという選択をしていることを表現すべき。

【事務局】 そのように修正したい。

【富川委員】 経緯と現状では、民間による教育活動に関する記述がない。ボランティアやNPOが果たしてきた役割を記述するべき。

【事務局】 「施策の経緯と現状」を記述しているため、市が主体として行ってき

たことが中心となっている。民間の動きということであれば、今回は記述していないが、土曜学校には民間団体がかかわっている。また、サイエンスフェスタについても記述することで、民間の動きがわかるようにしたい。

(4) 「3 武蔵野市の生涯学習がめざすもの」基本理念・施策体系（13～15 ページ）

■主な変更点

- ・基本理念の「学習者」という表現を「学ぶ層」に変更
- ・基本目標の関係図をタルト型にし、立体的に見えるように変更
渡辺委員の図面をデザイン化
- ・施策体系図 1-3-3 の「障害者」を「障害のある方」に変更
体系図の「5」と「6」を「理念」から直接つなげる形に変更

【倉持委員】基本理念中、「学ぶ層を新たに広げます」という表現は、「青少年や勤労者、子育て世代」が学んでいないと受け取られかねない。これまで様々な障害があつて学習できなかった人たちにも手をさしのべるというニュアンスの表現の方がよい。

【委員長】一人ひとりを見れば、学んでいる人もたくさんいるはず。学びのコミュニティの輪に入ってきてほしいというニュアンスが出せればいいのでは。

【事務局】「新たに」というとこれまで学んでいなかったと受け取れる。学びの輪の中に入ってきてやすい環境づくり進めていくというような表現を考えたい。

【飛山委員】基本目標の関係図はよくなったが、扇形の部分の文字は横書きの方がいいのではないか。

【倉持委員】学びの段階の矢印はいらないのではないか。文章ではどこから入ってもいいということが表現されているがどうなのか。

【事務局】学びの段階の矢印はあくまで補足説明なので、目立たないようにしたい。

【倉持委員】「学びを育む基礎づくり」だけ文字のポイントが小さい。少し大きくできないか。

【富川委員】内側に行くほど面積を大きくすれば大きくできるのでは。

【事務局】見やすいように修正したい。

(5) 「施策概要」及び「重点施策」について（16～49 ページ）

■主な変更点

- ・事業（例）はいくつか組み替えをしている。
- ・16 ページ §1-1-1 子どもプランとの整合のため市民会館事業について加筆
- ・19 ページ 1-2 リード文加筆

- ・ 20 ページ § 1-2-2 プレイスの4つの機能について説明加筆
- ・ 24 ページ § 2-1-3 課題が見えるように表記を修正
- ・ 25 ページ § 2-2-1 必要課題について加筆
- ・ 39 ページ § 5-2-1 事業（例）「自由大学通信の発行」から、「施設・事業情報提供一元化の検討」に変更。「託児つき講座メールサービスの検討」から、「講座お知らせメールサービスの試行」に変更。
- ・ 40 ページ § 5-2-2 事業（例）の「武蔵野スポーツ振興事業団の改組による生涯学習施策の一体的推進」の事業概要について、改組に関する記述を加筆
- ・ 45 ページ 重点施策の選定理由を加筆。重点施策については、施策概要での変更を反映。

【委員長】 39 ページ、「情報提供の一元化」について、重要なのは情報を一覧で
できること。「一元的」である必要はないのではないか。

【事務局】 集約した形で情報を見ていただけるようにするということが趣旨なの
で、誤解のない表現としたい。

【渡邊委員】 17 ページの点線枠囲みの説明文は、「施策概要」全体にかかるもの。
16 ページにリード文をつけ、その下に入れたらどうか。

【白井委員】 36 ページ、「学校支援ネットワークの体制の研究」について、表題は
支援体制だが、文章では連携となっている。連携といっても学校には
カリキュラムがあり、すぐにはできない部分がある。人材バンクとし
ての支援体制があつて、そこに問い合わせをして、学校に派遣する
という方が適切ではないか。

【事務局】 学校教育計画との整合を図りながら修正したい。

【白井委員】 10 ページに課題が掲載されているが、策定委員会では課題解決に向け
て議論してきたのだと思う。その最終的な結論が重点施策と考えてい
いのか。そうだとすると、課題の順序と重点施策の順序が違う。整合
をとった方がいいのでは。

【事務局】 重点施策は体系図の順番になっている。

【倉持委員】 課題の順番を変えたらいいのではないか。

【事務局】 課題の1番目以外は重点施策と直接リンクするので順番を変更したい。

【倉持委員】 「施設・事業提供一元化の検討」については、前回の議論より進んでい
るのか、慎重になっているのかどちらなのか。

【事務局】 今回、生涯学習事業団が従来のスポーツ振興事業団から改組された
ということで、生涯学習に関する情報発信の必要性が出てきたというこ
と、また、生涯学習と関連の深い文化事業団等の団体もあるため、そ
れらの情報の一元化ということが市の方向性として出てきている。そ
の実現を目指した施策として位置づけている。

【倉持委員】 「一元的」、「一元化」という表現は変えた方がいい。「一元的」という
表現だと前向きさが伝わらない。情報提供を進めていくということが

わかるようにした方がいい。難しいと思うが。

【渡邊委員】「情報収集の一元化」と「情報発信の検討」という2つの側面がある。情報収集は一元化しないといけない。それをどう発信するのかを検討するということではないか。

【事務局】 一定の情報を収集して、それを発信するという趣旨なので、特に「一元化」という表現については表現を検討したい。

【倉持委員】市内での様々な事業や活動が行われているのに、相互の交流がなかったり、情報を知るための場所がわからなかったりという点が課題としては大きいという議論が社会教育委員との意見交換会であった。課題の部分とリンクして、重点施策の記述でアピールできると武蔵野市の「売り」になるのではないか。

【事務局】 検討したい。

(6) 資料編について (50 ページ～)

■記載事項

- ・ 武蔵野市生涯学習計画（仮称）策定委員会設置要綱
- ・ 同委員名簿
- ・ 同委員会開催状況
- ・ パブリックコメントについて（計画書に記載したものは記載箇所を記入）
- ・ 平成21年度生涯学習関連事業一覧表
- ・ 生涯学習関連施設一覧
- ・ 施策のあゆみ（S22年の市制施行以降）
- ・ 市民意識調査報告書概要版

【委員長】 アンケートの実施期間を入れるべき。

【事務局】 別途記載しているが、調査対象等と合わせる形で掲載したい。

【委員長】 パブリックコメントの4の方の意見は、歴史博物館を作りたいというものだが、回答は市民会館の話になっているがこれでいいのか。

【事務局】 1番目の方の2つ目の回答中で歴史資料館について回答している。それを4の所でも記載したい。

【萱場委員】 事業一覧のなかで「障害者」という表現が残っている。事業一覧の中ではいくつか「障害者」があるので精査してほしい。

【事務局】 条例上、障害者という表現を使っているもの、心身障害者など、置き換えが難しいものがあるので、整理させていただきたい。

【富川委員】 生涯学習関連施設一覧で「学校施設開放」となっているが、ここは施設の説明なので「施設開放学校」の方が適当ではないか。

【事務局】 「学校施設の開放に関する条例」という条例に基づいたものなので、学校施設開放としている。「市立小中学校（学校施設開放）」としたい。

【委員長】 生涯学習関連事業一覧表の分類の仕方は説明があった方がよい。

- 【事務局】 説明をつけたい。
- 【委員長】 事業一覧の4の分類だけ「楽しく」がついている。全体を統一したほうがいい。
- 【萱場委員】 ページの上に、どの分類のページなのかがわかるように表示したほうがいい。
- 【事務局】 各ページに分類のタイトルをつけたい。
- 【委員長】 「生涯学習関連施策のあゆみ」は充実させるのか。
- 【事務局】 事務局でも不足していると感じているので、充実させたい。また、生涯学習担当のものが中心になっており、図書館やスポーツ施策の書き込みが足りないので書き加えたい。

3 その他

■今後の進め方

- ・ 今日意見を踏まえて修正し、案としていきたい。委員の皆さんのご了解がいただければ、正副委員長に一任ということで、今後の修正作業については、正副委員長と詰めさせていただきたい。
- ・ 2月24日、正副委員長に出席いただいて、計画案を教育長に答申したい。委員の方もご都合のつく方はご同席いただきたい。
- ・ 3月5日、市議会文教委員会及び教育委員会定例会で答申案の報告を行う予定。
- ・ 最終的な市としての計画は、4月7日の教育委員会定例会に議案を提出し、審議いただく。計画は22年度からのスタートとする。

【委員長】 案の修正について、正副委員長に一任でいいか。

【一同】 意義なし

閉会